



個別学習指導

指導者1名:生徒1名または2名/小1年～
指導者1名:生徒3～4名/小1・2年のみ

対象 小学生(中学生)

- 通常学級に在籍し、発達障害の診断の有無にかかわらず、特性を踏まえた指導をご希望されるお子さま
- 学習面での苦手意識を克服したいお子さま
- 学校の学習に時間をかけて取り組みたいお子さま
- これまで個別のサポートの機会がなかなか得られなかつたお子さま

学習回数・時間

週1回または週2回

1回:標準80分/1対2(学年・特性により40分～/1対1～他)

※別途希望者向け春の特設コース・夏の追加コースあり

保護者様への学習報告

隔月1回、指導報告書を用いてオンラインまたは対面にて個別に学習報告(15分程度)及び年間2回(夏休み・春休み)の個別面談(25分)を行います。

その他、隨時ご家庭の必要に応じてご面談(20分程度)を承ります。

内容

一人ひとりの学習ペースや特性に配慮し、学習時間を楽しむこと大切にします。苦手意識を軽減し、自信につながる自己表現を育てます。

読み

ひらがな・カタカナ・漢字・アルファベットの文字とその読み、表記に合わせた読み、文章読解など

書き

様々な文字(英単語を含む)・数字の音や数量に合った書き方、作文(IT機器も使用)

数・形

数の大小、単位の使い方、形の認識、作図のための道具の使い方

計算

たし算・ひき算・かけ算・わり算の基本的な操作、方程式や関数

お子様それぞれに合わせたオリジナルの教材を作成し、つまずきがなくなり、力を伸ばす手立てに沿って指導にあたります。ご家庭からのご要望も加味してお子様一人ひとりの指導計画をご提示いたします。※教材→p2 ご参照ください

+ブリオクラブ

更なるパワーアップのために～少人数定着学習～
指導者1名または2名:生徒5名まで

お子さまの学習効果をより高めるため、通常の個別学習指導時の学習内容をもとに各種問題に取り組み、学校での学習へのダイレクトなパワーアップをはかります。個別学習指導週1回80分つき、1枠(60分)がセットできます。週複数回の学習が可能となります。

学習回数・時間 1回60分

土曜日午前/月3回～5回(年35回まで・在籍校の土曜登校日除く)
平日・土曜日午後/月4回(年45回まで)

ブリオクラブ(少人数定着学習)とは?

通常通つていただいた日に学習した内容を毎週土曜日午前中60分で振り返り・定着をはかることを目的としています。

レギュラーの来室日
80分/1対2
ひとりひとりの特性に合わせた
基礎的な学習
学校の学習内容を手順を
追って解説して練習
ノートを使用

土曜日のブリオクラブ
60分/1対5まで
レギュラー時間の学習内容を
振り返り
自分の力で最後まで
プリント形式でも大丈夫!
プリントを使用

通常はノートに用意された問題や課題に取り組みます。
お子様に合わせて図やヒントとなる言葉の用い方を工夫しています。
学校で“難しいなあ”と感じていた内容でも少しずつ練習してできるようになることを目指しています。

ブリオクラブの時間は、レギュラーの学習時間に学んだ内容をプリントで振り返ります。
学校の宿題やテストはプリント形式のものが多く、コンブリオで学習する手書きの問題に慣れていても、印刷形式で“難しいかも”と思いつみ、できるかもしれないものができない…という状況を軽減します。
また、平日に先生に教えてもらひながらできた問題の類似問題を「できるだけ自分の力だけで答えにたどり着く、書くことができる」というようにしています。

マンツーマンオンライン学習指導

自宅で学習

個別学習指導の内容を、通信アプリzoomを使用して行います。マンツーマンでの指導により、お子さまの「どうして?」「どうやるの?」にダイレクトに対応します。

学習時間

小学生全学年 1回50分 保護者様面談 別途毎月1回15分
1・2年 1回30分+保護者様面談10分(トータル40分)
※問い合わせ面談/無料後オンライン体験学習(30分・有料)にてお試しください

指導・相談の充実に向けて(希望者向け/有料)

お子様の特性や学習面での実態を、日本LD学会が作成した客観的なデータを使用し、より詳細に把握するための検査を実施いたします。ご希望をいただきましたご家庭には、書面による検査結果のご報告に合わせ、効果的な指導方法や学習のペース配分等ご相談に応じます。

対象: 小学生のお子様

検査: LD-SKAIP(Learning Differences Screening Kit for Academic Intervention Program)

検査方法・時間: iPadを使用(70分×2回)

※日程は個別に調整いたします。

内容: ①読字 ②書字 ③計算 ④保護者様への質問(10分程度)

報告面談(指導・相談): 保護者様へ検査後2週間以降の日程20分程度

※LD-SKAIPは、学習につまずきのあるお子さんのアセスメント(評価)を行うために日本LD学会が開発したiPadを利用した検査です。3つのステップ分かれており、学習の基礎となる「どのくらいのスピードで正確に文字を読んだり、書いたり、計算したりすることができるか」を評価します。また、さらに基礎的な音を操作する力や形を捉える力も評価できます。学校での授業やテストに近い課題も実施し、お子様のつまずき傾向やどのくらいの学習が身についているかを評価することができるため、今後の指導・支援につなげることができます。



こくご 国語 えいご 英語

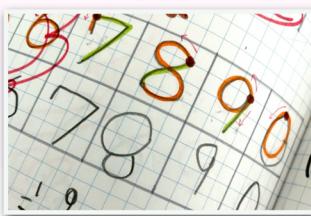


ハネの向きが違ってしまう場合でも、見本の視写などぞり書を繰り返し練習するうちに、正しい方向になつてきました。

お子さんの発達によって、同じ漢字でも色を変える部分を
変えて提示します。



文字・数字のパーソ・筆順ごとに色を変えた見本を示して、特徴や順序が視覚的に強くイメージできる様にしています。

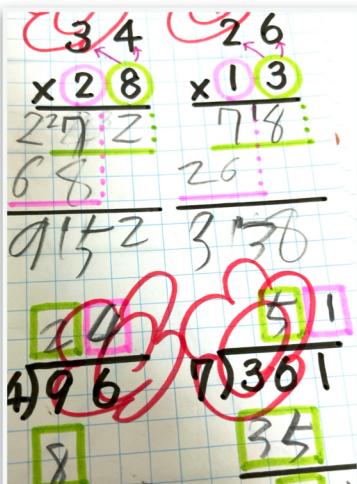


読む文章の量を減らすことで、筆者の考え方や、同じ意味を持つ場所を探したり問い合わせに対する答えを探しやすくしたりして練習しています。



コンブリオの課題設定と手立て

お子さまの特性に合わせて指導にあたります

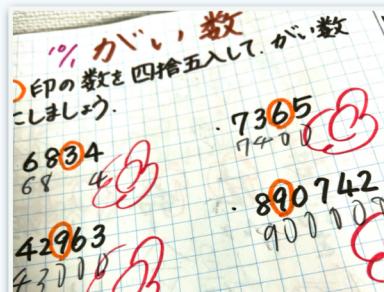


かけ算の筆算(2けた×2けた)
計算を始める場所と答えを書く場所が連動するように色を
変えています。

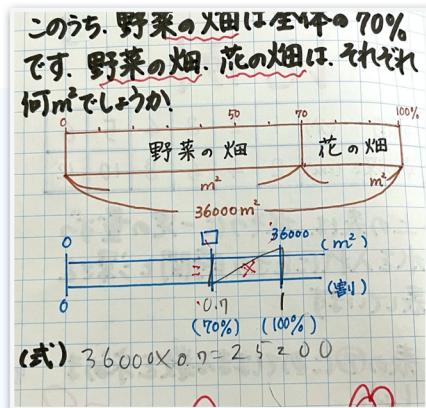
慣れてくると、自分で補助線を書く様になりました。今では補助線なしで書くことができる様になりました。



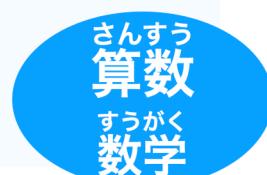
同じ単位ごとに計算することを視覚的にわかりやすくしています。



どこを四捨五入するのかを明確にして、がい数の作り方を覚えます。



学校で使われる図の意味・使い方をお子さんにとってわかりやすい手順で教えています。



お問い合わせ
かきのき教育支援室コンブリオ
Tel 03-6915-0203